

小学校 第5学年 国語 「文化を受けつぐ」 ことについて考えよう

(東京書籍 新編 新しい国語5)

○単元の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。	・目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見付けたり、論の進め方について考えたりすることができる。	・言葉が持つよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする。

○探究の過程

①課題の設定	既に学習した教材文と、これから学習する教材文を比べ、同じところや違うところを考え、「情報を関連付けて読む」ことについて考える。
②情報の収集	筆者が和菓子について整理している観点や、序論・本論・結論で述べていることをまとめる。
③整理・分析	教材文と記事を比較し、重なるところや異なるところを考える。
④まとめ・表現	資料のどの部分に注目したのかを分かりやすくまとめ、友達との考えの違いが見えるように表現する。

○単元計画 (6時間扱い)

時	目標	学習活動	探究の過程
1	既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つことができる。	<ul style="list-style-type: none"> これまで学習した教材文と比較し、共通点や相違点を考える。 これからの学習の流れを確認する。 教材文や記事を関連付けながら読み、「文化を受けつぐ」ことについて自分の考えを伝え合う活動を通して複数の文章を関連付けて読む力を身に付けることを確認する。 	① 
2	教材文の構成を捉え、筆者の考えを確かめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文を通読して、文章の構成について考える。 教材文を序論・本論・結論に分け、筆者の考えを読み取る。 本論が3つの観点で整理している構成にまとめている効果について考える。 	② 
3	筆者の言う「文化を受けつぐ」ということについて、インタビュー記事と関連付けて考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文とインタビュー記事を関係付けて読む。 2つの文章を比較して考えたことを話し合う。 	③ 
4	「文化を受けつぐ」ということについて自分の考えを文章にまとめることができる。	<ul style="list-style-type: none"> 教材文やインタビュー記事を比較し、要約や引用をしながら、自分の考えた「文化を受けつぐ」ことについて文章にまとめる。 	④ 
5	書いたものを読みあって、感想を伝え合うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> お互いにまとめた文章を読み合い、感想や考えを伝え合う。 	
6	複数の文章を関連付けて読むときに、どのように文章のつながりを考えたかを振り返り、身に付けた力がどんな場面に役立つかを考え、これからの学習や生活に生かそうという意識を高める。	<ul style="list-style-type: none"> 複数の文章を関係付けて読むときに、気を付けたことを確認する。 今回の学習が、どういうときに生かせるかを考える。 	

第5学年 国語科学習指導案(第1時)
【①課題の設定:単元を貫く課題を設定しタイ】

1 単元名 「文化を受けつぐ」 ことについて考えよう (東京書籍 新編 新しい国語5)

2 本時の計画

目標	既習事項を確かめ、単元の学習の見通しを持つことができる。
探究の過程	既に学習した教材文と、これから学習する教材文を比べ、同じところや違うところを比べ、「情報を関連付けて読む」ことについて考える。
課題の設定	

○指導過程

段階	学習活動	形態	指導上の留意点
導入 15分	<p>○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応</p> <p>1 これまでの学習を振り返り、情報を関連付けて読むことについて考える。 ○これまで学習してきた文章と同じ点と違う点について考えましょう。 ◆日本のことについて考えている点は同じ。</p> <p>2 文章を関連付けることを確認する。 ○ここからの学習では、2つの文を読み比べ同じ点や違う点を考えていきます。 ◆どんなことなんだろう。</p>	一斉 一斉	<p>◎これまで学習した教材文と比較し、共通点や相違点を考える。</p> <p>◎文章を比較して分かることを見付けていくことが「関連付ける」ことであることを押さえる。課題の設定</p> 
展開 25分	<p>3 単元の目標と学習の流れを確認する。 ○文章を読み、学習の流れを確認しましょう。 ◆「文化を受けつぐ」ということはどういうことなんだろう。 ◆外国人で和菓子職人をしている人は他にもいるのだな。</p> <p>4 初発の感想を書く。 ○文章を読み、和菓子について初めて知ったことを整理しましょう。 ◆あまり和菓子を食べないけど、昔からの歴史を知ることができた。 ◆おいしいだけでなく、作る様子なども面白かった。 ◆「受けつぐ」というイメージはどこに書いてあるのか分からなかった。</p>	個別 グループ	<p>◎教材文を読み、めあてと流れを読ませる。</p> <p>◎「文化を受けつぐ」ことについて、自分の考えを伝え合う活動を通し複数の文章を関連付けて読む力を身に付ける。</p> <p>◎この単元での学習の流れは大きく2つある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「文化を受けつぐ」ということについての自分の考えを持たせる。 ・自分の考えを持たせる際に、2つの資料を参考にするようにさせる。 <p>◎自分で読んだ後、知らなかったことをペアやグループで伝え合わせる。</p> <p>◎時間がある場合は記事を読み、感想などを話し合わせることを伝える。</p>
終結 5分	<p>5 本時の学習を振り返る。 ○今日の学習で分かったことは何ですか。 ◆和菓子がたくさんの国から伝わったものを生かして作られていることを知った。</p>	一斉	<p>◎今後の見通しや、和菓子について初めて知ったことを踏まえながら、今後は筆者の考えを読み進めていくことを伝える。</p>

第5学年 国語科学習指導案(第2時)

【②情報の収集：知識・技能を身に付けさせたい】

1 単元名 「文化を受けつぐ」 ことについて考えよう (東京書籍 新編 新しい国語5)

2 本時の計画

目標	教材文の構成を捉え、筆者の考えを確かめることができる。
探究の過程	筆者が和菓子について整理している観点や、序論・本論・結論で述べていることをまとめる。
情報の収集	

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 10分	1 全文を通読し、文章の構成について考える。 ○どのような文章の構成になっているか考えながら読みましょう。 ◆この文章では和菓子の何について詳しく書かれているんだろう。	一斉	◎和菓子について、どのような観点から説明しているかを手掛かりにさせる。
展開 30分	2 文章の構造について考える。 ○形式段落、問いと答えの関係、つなぐ言葉に着目しながら構成を考えましょう。 ◆文の終わりの言葉に着目した。 ◆挿絵などからも、本論で言われていることが分けられそう。 3 段落や事実の違いについて話し合う。 ○「結論」で述べていることを段落や事実と考えの違いに気を付けて話し合います。 ◆文の最後に言いたいことが書かれていることが多い。 ◆事実と考えを分けて読むことに気を付けよう。 ◆「受けつぐ」ことを筆者はさまざまな和の文化の歴史、文化との関わり、受けつがれ方を考えていくことだと言っている。	個別 グループ	◎形式段落を使い、「序論」「本論」「結論」を分けさせる。 ◎本論の中で詳しく述べられていることに着目させる。 ◎「本論」では、「歴史」「ほかの文化とのかわり」「支える人々」の観点で整理されていることに気付かせる。 ◎⑩・⑪段落で、筆者の考えになっているところに線を引かせる。 ◎結論で言われていることが筆者の言いたいことであることと、この文章では、「文化をどう受けつぐか」について書かれていることを確認してから考えさせる。 ◎まとめと筆者の考えは以下のように整理される。 【まとめ】 長い時を経て、それぞれの時代の文化に生まれ、いく世代もの人々の夢や創意が受けつがれてきた和菓子は、知るほどに奥が深い。 【筆者の考え】 和菓子には、おいしさばかりでなく、伝統的な和の文化を再発見させてくれるような魅力がある。
終結 5分	4 学習のまとめをする。 ○学習を振り返り、分かったことを発表しましょう。 ◆歴史について詳しく書いてあった。	一斉	◎文章はいくつに分かれていたか、筆者の言いたいことはどこに書いてあったかなど、文章の構造について分かったことを発表するように指導をする。

情報の収集



第5学年 国語科学習指導案(第3時)

【③整理・分析：情報を分析させタイ】

1 単元名 「文化を受けつぐ」 ことについて考えよう (東京書籍 新編 新しい国語5)

2 本時の計画

目標	筆者の言う「文化を受けつぐ」ということについて、インタビュー記事と関連付けて考えることができる。
探究の過程 整理・分析	教材文と記事を比較し、重なるところや異なるところを考える。

○指導過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 10分	1 学習のめあてと流れを確認する。 ○情報を関連付けることを踏まえて、文章の構成を考えましょう。 ◆文章の中で紹介されていることは、和菓子の話だけど、日本人ではない人が作っている話だね。	一斉	◎形式段落を付け、4つの文のまとまりからできていることを考えさせる。 ◎前時までに学習した文章の構成を振り返る。
展開 30分	2 文章の構成を考える。 ○4つのまとまりそれぞれについて、どのようなことを伝えているか考えましょう。 ◆教材文に出てくる職人がどんな人か書かれている。 ◆③はミカンの入った大福の紹介だね。 3 インタビュー記事と教材文の構成と要旨をまとめる。 ○記事と教材文の構成と要旨をまとめましょう。 4 記事の構成と、前時までにまとめた教材文の構成の比較をする。 ○文章の構成を比べましょう。 ◆和菓子の話をしているところは同じ。 ◆和菓子を作る上で季節や行事との関わりを本文で述べていたけど、教材文に出てくる職人も同じことを言っている。 ◆文章の構成が違う。 ◆教材文に出てくる職人の話は、特に和菓子を支える人の話を詳しくしていると思う。	個別 個別 グループ	◎短くまとめられない場合や、難しく感じている児童には、述べている内容の中で、一番伝えたいことが書かれている文章に線を引かせる。 例 4つの段落で書かれていることを段落ごとに整理する。 ◎文章構成をまとめるときに出てきた項目を使い、それぞれの文章の要旨を考える。 ◎図示して比較しやすいようする。 ◎まずは、共通しているところを考え、その後、違いを考えるようにする。 ◎和菓子に関する内容だけでなく、文章の構成やまとめ方に注目して考えることができるように指導する。 整理・分析
終結 5分	5 学習のまとめをする。 ○情報を関係付けると分かることは何か発表しましょう。 ◆同じテーマでも深めるポイントが違っていると、違う発見がある。	一斉	◎関連付けることについて考えるように指導をする。



第5学年 国語科学習指導案(第4時)

【④まとめ・表現 相手意識をもった表現活動をさせたい】

1 単元名 「文化を受けつぐ」 ことについて考えよう (東京書籍 新編 新しい国語5)

2 本時の計画

目標	「文化を受けつぐ」ということについて自分の考えを文章にまとめることができる。
探究の過程	資料のどの部分に注目したのかを分かりやすくまとめ、自分の考えが伝わるように表現する。
まとめ・表現	

○学習過程

段階	学習活動 ○主な発問・指示 ◆予想される児童の反応	形態	指導上の留意点
導入 5分	1 めあてを確認し、活動の見通しを持つ。 ○「文化を受けつぐ」について、自分の考えをまとめましょう。 ◆「文化を受けつぐ」についての自分の考えとは何だろう。	一斉	◎自分の考えが伝わるように文章をまとめることを伝える。 ◎教材文に示された例を目指す姿として例示してもよい。
展開 35分	2 文章のまとめ方を確認する。 ○これまで学習した、文章のまとめ方を復習しましょう。 ◆丁寧な言葉の文章を書く。 ◆段落やまとまりを意識して読みやすくしたい。 3 文章のまとめ方を友達と話し合いながら考える。 ○記事や本文を見ながら、文章のまとめ方を話し合いましょう。 ◆まずは、自分なるほどと思ったことを伝え合ってから考えよう。 ◆文章の書き方が分からない。	個別 グループ	◎書く上で共通して大事にしておきたいこと(文体、段落、文のまとまり)を指導する。 ◎以下のような順で児童に考えを整理させ、その上で文章を書くように指導する。 例1 (記事や本文から考えられる場合) ①教材文から参考となる文章を選ぶ。 ②文章を選んだ理由を考える。 ③①で選んだ文を引用して、考えをまとめる。 例2 (考えが見つからない場合) ①知らなかったことを探す。 ②それを知って思ったことを書き出す。 ③教材文を参考にしながら、①で選んだ文を引用して、考えをまとめる。 ◎友達と考えが違うことを気付くような声掛けをする。 まとめ・表現
終結 5分	4 考えをまとめる。 ○教材文を参考にして、自分の考えを文章にまとめましょう。 ◆和菓子を作ることは今も昔も大変そうだが、支える人々のおかげで、それが引き継がれている。 5 書いた文章を推敲する。 ○教材文を参考に、それぞれ自分の書いた文章を読み直してみましょう。	個別	◎推敲するときに気を付けることを確認させる。

